

令和8年度 家庭 科  
教科名等

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス			単位数	分類	予定時数
保育基礎	保育基礎	3	▼ B ▼	D	E ▼	2	自由選択	78 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
授業形態	講義・実技実習・実験 等
教科書	新保育基礎 ようこそともに育ち合う保育の世界へ，教育図書
使用教材等	新保育基礎 ようこそ、ともに育ち合う保育の正解へ 準拠ノート

科目の目標・内容等

学習目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成す
学習における留意点	「家庭基礎」で生徒が学習した知識・技術の延長として、保育分野における基礎・基本を重視した学習をする。
予習・復習	必要に応じて課題の提出
評価方法	小テスト、作品提出、レポート 等

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	「子どもの保育」 「子どもの発達」 実習「壁画制作」 実習「保育実習」	保育の意義 保育の方法 保育の環境 子どもの発達の特性 子どもの体からだの発達 子どもの心の発達 月齢、年齢別の発育・発達 ・実際に子どもたちと触れ合う機会をもつことで、子どもたちの心身の発達や生活の様子、遊び方等を観察し、子どもの発達と保育に関する理解を	保育者に求められる役割や関り方のポイントを理解している。 子どもの心身の発達・発育について理解している。 季節に合った壁画を完成させている。 子どもとの関わり方、服装、注意点など理解している。
2	「子どもの文化」 「子どもの生活」	①子どもの文化の意義と支える場 ②子どもの遊びと表現活動 ①子どもの生活と養護 ②生活習慣の形成 ③健康管理と事故防止	児童文化活動、児童文化財、児童文化施設など子どもの文化を支える場やその意義について理解している。 子どもの安全で健康的な食生活、衣生活に関する知識や技術を身につけている。
3	実習「絵本製作」 「子どもの福祉」	年齢に合った楽しみ方の工夫 読み聞かせ ①子ども観 ②子どもの福祉 ③子育て支援	絵本を工夫して製作している。 子どもの福祉を支える公的機関や施設の役割について理解している。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。